

# 1 建築物

## (6) 車椅子使用者用便房③

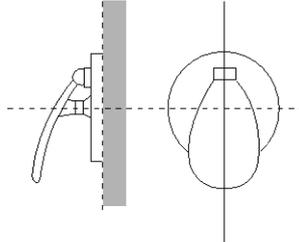
### 洗浄ボタンの例

タッチ式

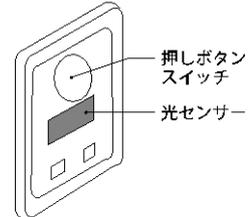


- ⚠️ 軽く押すと洗浄できる形式（タッチした感覚がわかるもの）が望まれます。
- ⚠️ わかりやすい大きさ、色とします。

くつべら式



光感知式



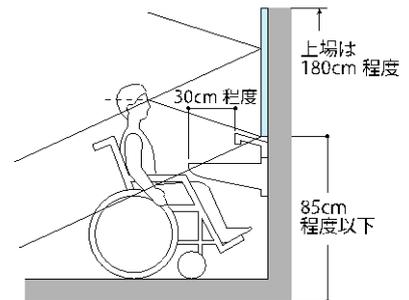
- ⚠️ ボタンの凸がわかりにくい形式のものは視覚障害者の利用に不便な場合があります。
- ⚠️ 光感知式は、不随意運動をする脳性麻痺の人には利用しにくいことがあります。

### 便房内の身づくろい用鏡の高さの例

#### 垂直鏡

鏡下端を 85cm 程度以下にできる場合には垂直鏡が望まれます。(80cm 程度になれば可視範囲が広くなり、より使いやすくなります)

- ⚠️ 立体での利用を考慮すると垂直鏡の方が望まれます。
- ⚠️ 取り付け場所、高さにより形式を選択する必要があります。
- ⚠️ 吐水口の位置は、車椅子使用者の利用に配慮した位置（洗面器の手前縁から 30～35 cm 程度）とします。
- ⚠️ 洗面器前面の鏡とは別に、全身の映る姿見を設置することが望まれます。



### 便所表示例



どなたでもご自由にお使いください

- ⚠️ 便所に至る経路を表示し、また便所の出入口にはシンボルマークを設置して誘導します。
- ⚠️ 高齢者や妊産婦、乳幼児を連れた人など障害者以外の人も利用できる旨を表示することが望まれます。

### その他の設備

#### 便座に座ったまま使える手洗器

- ⚠️ 便座に座ったまま使える手洗器は、排泄障害を伴う障害者が摘便（指で便をかき出す行為）の後に、汚れた手を洗うために特に有効です。

#### おしり洗浄機

- ⚠️ 便器に正面からまたがる人がいるため、設ける場合は操作盤を壁面に取り付ける機種にすることが望まれます。

#### 背もたれ

- ⚠️ 座位バランスが保ちにくい人が利用する場合に介助者が後ろで支える負担を軽減するため、設置することが望まれます。

#### 汚物入れ

- ⚠️ 汚物入れは、一般のものより大きなものとし、車椅子に乗ったままでも利用できる位置に設けます。

#### 棚・フック

- ⚠️ 便房内の壁には、車椅子使用者の利用に支障とならない位置に手荷物などを置く棚やフックを設けることが望まれます。

### 維持管理上の留意事項

- ⚠️ 車椅子使用者用便房の中のゴミ箱が、車椅子使用者の使用の際のドアの開閉や中での回転、可動手すりの開閉等に支障となることが多いため、ゴミ箱を置く位置に注意する必要があります。

- ⚠️ 便座のひび割れや可動式手すり、呼び出しボタン、鍵等の作動について、日常の清掃時に点検をしておく必要があります。

#### 公衆便所の場合

- ⚠️ 常時、人がいないことから管理上の問題が起こりやすく、夜間に鍵をかける場所が多くあります。しかし、利用者にとって、夜間に利用できなくなることは好ましくないため、照明を明るくものにしたたり、いたずら防止の表示をするなどの対策を講じることが望まれます。